

神戸ポートオアシス

多目的ホール・会議室利用の皆様へ（お願い）

神戸ポートオアシス管理者

《新型コロナウイルス感染拡大防止のために》

新型コロナウイルス感染が終息するまでの間、神戸ポートオアシス多目的ホール・会議室を利用する皆様方に、是非守っていただきたいことがあります。

多目的ホール・会議室においては、特に、いわゆる「三つの密」（密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、密集場所（多くの人々が密集している）、密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる））と云われる場では、感染拡大リスクが高いと考えられます。

こうした環境下において極力感染を拡大防止する観点から、次に掲げる対策を施していただくようお願いします。

《多目的ホール・会議室ご利用時の注意事項（共通）》

- ① 来場者は、収容定員のいずれかの割合としてください。
 - ・ 大声での歓声、声援等または歌唱等がない場合・・・100%以下
 - ・ 大声での歓声、声援等または歌唱等がある場合・・・50%以下
- ② 館内では、常時マスクを着用してください。
- ③ 入館時に手指の消毒をお願いします。
- ④ 会場入り口に手指消毒用のアルコールポンプ等を設置してください。
- ⑤ すべての出演者、スタッフ、来場者に対して、入場・入室の際に検温を実施してください。
- ⑥ 兵庫県新型コロナ追跡システムに登録してください。
- ⑦ 厚生労働省接触確認アプリ（COCOA）に登録してください。
- ⑧ 出演・登壇者、運営スタッフは各自検温を行い、37.5℃以上の発熱や咳などの症状がある場合には自宅待機するようにしてください。また、発熱の他に、下記の症状に該当する場合も、自宅待機を促してください。
呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、眼痛、結膜の充血、頭痛、関節痛、筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐
- ⑨ 来場者に対し、下記事項を事前に周知してください。
 - ・ 咳エチケット、マスクの常時着用、手洗い・手指消毒の徹底
（マスクを所持していない来場者に対して、マスクの配布・販売を行ってください。）
 - ・ 社会的距離の確保

- 以下の場合は、来館を控えること
 - (1) 発熱症状のほか、上記⑧の症状がある場合
 - (2) 新型コロナウイルス感染症陽性と判断された者との濃厚接触がある場合
 - (3) 過去2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該居住者との濃厚接触がある場合
- ⑩ 入場・入室時の検温で37.5℃以上の場合には、入場しないよう要請してください。

また、発熱症状や風邪の諸症状、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、眼痛、結膜の充血、頭痛、関節痛、筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐などの症状がある場合も同様に、入場しないよう要請してください。
- ⑪ 講演台・司会者台を使用する場合は、飛沫拡散防止用のパーティションを設置してください。
- ⑫ 公演・講演・会議中及び休憩中に限らず、常時、多目的ホール・会議室内の換気を行ってください。
- ⑬ 多目的ホール・会議室入口では、待機列を設置する等、できるだけ間隔を空けて整列するように呼びかけて下さい。
- ⑭ 公演・講演・会議の前後及び休憩中に、人が密集しないよう、順次会場に出入りさせる等の工夫を行ってください。
- ⑮ 会場の利用定員の半数以下の利用に努めていただき、テーブル、椅子等については、間隔をおいて設置してください。
- ⑯ トイレの混雑が予想されるので、できるだけ余裕を持った休憩時間を設定して混雑の緩和に努めてください。また、ハンドドライヤーは使用中止としております。
- ⑰ 来場者の氏名及び緊急連絡先の把握に努めてください。また、来場者に対して、こうした情報が来場者から感染者が発生した場合など必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知してください。なお、個人情報の保護の観点から、名簿等の保管には十分な対策を講じてください。
- ⑱ 座席は原則として1席空ける等、適切に感染予防措置がとれる席配置としてください。
- ⑲ 歌唱、管楽器演奏、料理、ダンスなどの利用については、業種ごとの感染拡大予防ガイドライン等が実施されるなど、感染防止策を徹底してください。飛沫感染防止のため、向かい合う座席配置は避け、特に歌唱・管楽器演奏による利用でマスク着用ができない場合は、2m以上の距離を確保してください。
- ⑳ 公演・講演・会議の運営にあたっては、必要最小限の人数としてください。

- ⑲ 多目的ホールへの資機材の搬入・搬出時を除き、北側エレベーターのみをご利用ください。ご利用の階以外の階には立ち入らないようお願いします。
- ⑳ 感染が疑われる者が発生した場合、速やかに別室に隔離するとともに、神戸ポートオアシス管理者、医療機関及び保健所へ連絡し、指示を受けてください。なお、対応するスタッフは、マスクや手袋の着用を徹底してください。

《特に多目的ホールご利用時の注意事項》

- ① 事前に余裕を持った入退場時間を設定し、時間差での入退場、開場時間の前倒し等の工夫を行ってください。また、多人数での同時来館も避けるようにしてください。
- ② 高齢者や持病のある方が多数来場すると見込まれる公演・講演については、感染した場合の重症化リスクが高いことから、より慎重な対応を検討してください。
- ③ マスクの常時着用や消毒、座席間隔等の感染症対策について、掲示・館内放送等によるアナウンスを行ってください。
- ④ 来場受付やチケット・グッズの対面販売を行う場合には、パーティションを設置してください。その際、できるだけ間隔を空けて整列するようにしてください。販売員は、マスクの常時着用と手指消毒を徹底してください。また、多くの方が触れるようなサンプル品・見本品の取り扱いには十分に注意を払ってください。
- ⑤ パンフレット・チラシ・アンケート等は、手渡しによる配布は避けてください。
- ⑥ 楽屋、控室では、常時換気に努めてください。
- ⑦ 楽屋等では使い捨ての紙コップや紙皿を使用するようにしてください。
- ⑧ 座席の最前列席は舞台前から十分な距離を取り、前後左右を空けた座席の配置等にしてください。
なお、同一グループ（5名以内に限る）内では間隔を設ける必要はありません。
- ⑨ 公演中、来場者同士の接触を控えていただくよう周知してください。
- ⑩ 来場者と接触するような演出（声援を求める、来場者をステージに上げる、ハイタッチをする等）は行わないようにしてください。
- ⑪ 公演の内容として、大声を発するもの、管楽器等を使用するものは、業種ごとのガイドラインに沿って十分な対策を施してください。
- ⑫ 場内における会話は控えていただくよう周知してください。
- ⑬ 主催者は、運営スタッフの緊急連絡先や勤務状況を把握しておいてください。

- ⑭ 表現上困難な場合を除き原則としてマスク着用を求めるとともに、出演者間で十分な間隔をとるようにしてください。また、公演前後の手指消毒を徹底してください。
- ⑮ 機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限するようにしてください。
- ⑯ 仕込み・リハーサル・撤去等において、十分な時間を設定し、密な空間の防止に努めてください。
- ⑰ その他、稽古や仕込み・撤去等においても十分な感染防止措置を講ずるようにしてください。

2020年11月版